

農林水産大臣賞受賞 内海府中学校

内海府中学校が、第6回環境美化教育優良校等表彰(社団法人食品容器環境美化協会主催)で、最優秀校に選ばれ、農林水産大臣賞の栄誉に輝きました。11月30日(水)東京の品川プリンスホテルで行われた表彰式には、全校生徒を代表して3年生の濱田歩さんが出席し、賞状を授与されました。

この賞は、環境美化教育に独創的、熱心に取り組む、地域の環境美化の啓発に寄与している学校を対象とするものです。

内海府中学校は、県の環境賞を受賞したことにより、県から全国への推薦を受け、今回の賞につながりました。各都道府県から72校の推薦があった中で、椎茸栽培を2年間、一ツ亀海岸清掃を20年間、育林作業を19年間、大野亀台地へのカンソウ定植ボランティアへの参加を9年間というように、長年にわたる地域での活動が評価され、最優秀校の1校に選ばれました。

以下に、受賞対象となった活動をご紹介します。

内海府中学校では、次の四つの活動を中心に、環境教育に取り組んでいます。実践にあたっては、「緑の少年団」を組織し、生徒の主体的な活動を行っています。

海岸清掃

毎年、7月に「日本の水浴場88選」に選ばれている一ツ亀海水浴場の清掃活動を行っています。内海府小学校や地域の方々とともに、教育委員会からの協力もいただき、空き瓶、ペットボトルなどの漂流物の回収

ゴミの収集をしています。1985年から、学校の活動として取り組み始め、20年が経過し、今では海水浴シーズン前の大切な行事の一つとなっています。



育林作業

学校林や椎茸林の保全作業を行い、里山の整備、環境の保護活動を行っています。地域の指導者の方にご協力をお願いします。下草刈りや枝打ち、間伐をしています。枝打ちをし、明るくなった林の中は、とても気持ちのいい空間となり、木々等が、またすくすくと育っていきます。



カンソウの定植

海府観光協会の声かけで行われる、大野亀台地に群生するトビシマカンソウの定植ボランティアに、毎年生徒達は自主的に

参加しています。苗木の植え替えや定植作業を行います。6月に大野亀台地がカンソウでいっぱいになることを願って、頑張っています。

椎茸栽培

学校裏の杉林を借り、椎茸の栽培活動を行っています。地域の方を講師として招き、春に菌打ち作業を行います。収穫は春と秋の二度行い、収穫された椎茸は、地域で一人暮らしをされているお年寄りに配り、交流を図っています。

次に、活動後の生徒の感想を紹介します。



「大変だった海岸清掃」

今年の海岸清掃でのゴミの量は、去年と比較してみると、少なかったです。しかし、そんな少量のゴミでも、探してみればいたるところにあるのです。いつか、こんな現実が変わってくれると嬉しいなあと心から願っています。

「ゴミが減ってくれたという事は、観光客の人も、このままではいけないと気づいてくれているのでしょうか。もし、そんな人がいるのだとしたら、近い将来にきっと、現実が変わってくれるのかも知れません。いつか、一ツ亀が日本一ゴミが少ない海岸になりますように。」

来年もがんばりたいです。

(2年 増家由佑子)

「シイタケ菌打ち作業の感想」

初めての菌打ち作業は、みんなが協力して行うことができよかったです。早くシイタケが出るいいなと思いました。これからも一生懸命、緑の少年団の一員として作業を行っていきたいです。すごく難しかったけど、楽しかった作業でした。

(1年 竹森早希)

【渡辺校長先生のコメント】

この受賞は16名の生徒にとっては大きな喜びであり、かつ、自信と誇りを得ることのできる受賞でありました。勿論、活動を計画し継続してくださった先輩の皆さん、保護者の皆さん、様々な活動を支え応援し続けてくださった地域の皆様のおかげであり、海府地区すべての皆様の受賞であることを忘れてはいけません。このことを全校生徒がしっかりと自覚し、感謝の気持ちを持ちながら今後、も活動も継続するとともに、さらに充実・発展させていきたいと考えております。

